

韓国大学生訪日団（外務省招へい）（招へいプログラム）の記録
（対象国：韓国，テーマ：オリンピック・パラリンピック）

1. プログラム概要

韓国全土から選抜された大学生等が，9月20日から29日までの9泊10日の日程で来日し，テーマ「オリンピック・パラリンピック」のもと，対日理解を深めました。

一行は，都内で東京五輪組織委員会表敬，文化体験，学校訪問，日韓交流おまつり 2017 in Tokyo でのボランティアを行った後，北海道七飯町でホームステイ，視察，企業訪問等を行いました。

期間中，日本のオリンピック・パラリンピックへの取り組みや，さまざまな世代の日本人との交流を通して学んだこと，各々の体験や感想について SNS を通じて対外発信を行いました。また，帰国前の報告会では，訪日経験を活かした帰国後のアクション・プランを発表しました。

【訪問地】

東京都，北海道

2. 日程

9月20日（水）

羽田国際空港から入国，【視察】東京オリンピックメモリアルギャラリー，
【文化体験】浴衣着付け

9月21日（木）

【表敬】東京五輪組織委員会，外務省訪問，在京韓国大使館訪問，
【視察】パナソニックセンター東京

9月22日（金）

【学校訪問】法政大学

9月23日（土）

日韓交流おまつり 2017 in Tokyo 参加

9月24日（日）

日韓交流おまつり 2017 in Tokyo 参加

9月25日（月）

北海道函館市へ移動，【視察】函館ベイエリア，五稜郭，函館山

9月26日（火）

【交流】七飯町立大沼小学校，七飯町立軍川小学校，【企業訪問】株式会社アプレ，
【文化体験】カヌー，【交流】ホームステイ対面式

9月27日（水）

ホームステイから一時集合，【視察・講義】七飯町歴史館，「西洋農業発祥地である七飯町の西洋農業（くだもの）について」，【文化体験】茶道・書道，【体験】プルーン・ブドウ狩り，【視察】昆布館，山川牧場

9月28日（木）

ホームステイより再集合，札幌市へ移動，【表敬】北海道庁，【視察】北海道庁旧庁舎（赤れんが庁舎），成果報告会

9月29日（金）

【視察】大倉山ジャンプ競技場，札幌オリンピックミュージアム，新千歳空港から帰国

3. プログラム記録写真

	
9月20日【視察】東京オリンピックメモリアルギャラリー（東京都世田谷区）	9月20日【文化体験】浴衣着付け（東京都台東区）



9月21日【表敬訪問】東京五輪組織委員会
(東京都港区)



9月21日【表敬訪問】外務省(東京都千代田区)



9月21日【表敬訪問】在日本国大韓民国大使館(東京都港区)



9月21日【視察】パナソニックセンター東京(東京都江東区)



9月22日【学校訪問】法政大学(東京都千代田区)



9月23日, 24日【交流】日韓交流おまつり2017 in Tokyo(東京都千代田区)



9月25日【視察】五稜郭（北海道函館市）



9月26日【学校訪問】七飯町立大沼小学校
（北海道亀田郡七飯町）



9月26日【学校訪問】七飯町立軍川小学校
（北海道亀田郡七飯町）



9月26日【企業訪問】株式会社アプレ
（北海道亀田郡七飯町）



9月26日【交流】ホームステイ対面式（北海道亀田郡七飯町）



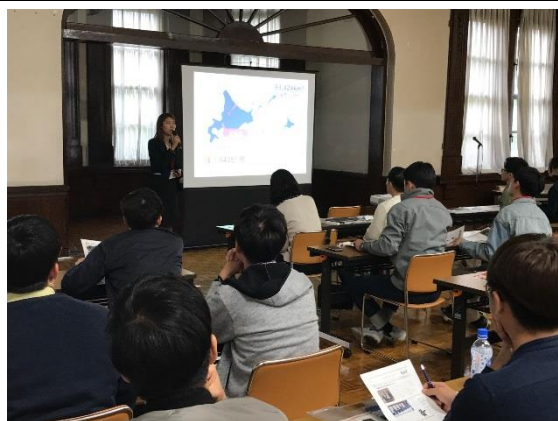
9月27日【視察】七飯町歴史館（北海道亀田郡七飯町）



9月27日【文化体験】茶道（北海道亀田郡七飯町）



9月27日【文化体験】書道（北海道亀田郡七飯町）



9月28日【表敬】北海道庁（北海道札幌市）



9月29日【視察】札幌オリンピックミュージアム（北海道札幌市）

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 韓国 大学生

小さな子どもから高齢者まで、社会全般的にマナーが体に染みついていることが印象的でした。また、社会のいたるところで体系的なシステムが導入されている部分は学ぶべき点だと思いました。例えば、安全に対する備えや小学校教育の多様性は、先進国として日本の力量を見せているようでした。隣国として韓国と日本はお互いに多くのことを学べると思いました。

◆ 韓国 大学生

今までの学びや経験を通じて、日本に対してよくない認識があったことは事実です。歴史・政治問題を抜きにしても、日本は堅いイメージでしたが、今回の経験で考えが大きく変わりました。お互いに配慮し、決められたことを重視して守る文化を感じる事が出来ました。また日本に来たいし、住んでみたいと思うようになりました。

5. 受入れ側の感想

◆ 訪問校交流会参加学生

訪日団の学生さんはとても優しく、身振り手振りを使って何とか交流しようとしてくれ、韓国人の優しさに触れました。お互いの国や文化についても話すことができ、実り多い時間となりました。

◆ ホームステイ受け入れ機関

この度、七飯町にお越し頂き、ホストファミリー、当協会スタッフ共に非常に良い経験をさせて頂きました。特に今回初めてホストファミリーになられた方々とお話しましたが、「もし、次に訪日団の方々がお越しになる際は必ずまたホストファミリーをさせて頂きたい」との大変嬉しいお言葉も頂きました。是非、また来ていただければと思っています。

◆ ホストファミリー受入家庭

2人の学生さんを引き受けしましたが、ホームステイをととても楽しみにしていたようで、畳、浴室、食事など文化の違いに驚き、喜び、感動していました。翻訳機を使って日本語で書いた手紙を下さり「温かい配慮に感動しました。一生忘れません。私も韓国を訪問した日本人を大切にします。」と書かれていました。私たちのちょっとしたことに喜んでくれたり、感謝されたりで、手紙を読んだとき、嬉しさで涙が出ました。何気ない日常のことが、2つの国を身近にしたことと感じております。

◆ 自治体関係者

韓国大学生訪日団の皆様に、北海道をご訪問いただき心から感謝申し上げます。また、七飯町でも心に残る良い交流をされたようで嬉しく思います。七飯町の関係者の方々も良い経験となったと感じておられるようで、ぜひ、また韓国からの訪問団に北海道をご訪問いただけることをお待ちしております。

6. 参加者の対外発信



日韓交流おまつりについての発信

2日間本当に大変だったけれど、日本人に韓国を紹介する活動ができたことと、日本語で対話できたことが、とても意義深かったです！



表敬訪問についての発信

日本の外務省と駐日本大韓民国大使館を訪問しました！たくさんのことを学べる貴重な経験になりました。



函館についての発信

北海道函館は長い鎖国期間のあと、日本で初めて開港した港のうちの1つです。そのためここでは近代日本開化期とその時代の主要人物の痕跡を所々で見つけることができます。



学校訪問についての発信

法政大学の友達との交流！
大学，また大学生がオリンピックに寄与，
参加できる活動はどのようなことがある
かについてディスカッションし，発表し
た。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表

	
今回のプログラムで学校訪問やホームステイを通じての成果と、帰国後のアクションプランを1人ずつ発表した。日本人と接することによって言語の重要性を学び、これから日本語の学習を始めたいという感想が多く出された。	今回の訪日団の経験を大学内の新聞や授業での発表を通じて、同期や後輩に紹介したいという感想や、自宅近くにある公民館で小学生に日本のドラマや映画の紹介や簡単な日本語を教えたいといった感想もみられた。